

校長室だより

=自分でGO!自分がGO!そして共にGO! =



令和7年2月27日

第10号

白井市立白井第一小学校

校長室

今年度が、あと1ヶ月足らずになりました。

6年生は、白井第一小学校に登校するのが、今日を入れて14日になりました。

子どもたちへは、3月の卒業するときに、次の学年に進級するときに、どんな姿で卒業・進級したいのか、よく考えて今を過ごすようにと話してきました。その姿に、少しずつ近づいているように思います。子どもたちの成長が楽しみでなりません。

あすチャレ! メッセージ講演会 「どんなことがあっても前に続く道がある」

1月29日(水)にPTAの御協力をいただき、パラアスリートの秦由加子選手をお呼びして、講演会を行いました。

秦選手は、私たちと同じ千葉県の出身で、3歳で水泳を始め、10歳までスイミングクラブに通っていました。13歳、中学1年生のとき、病気で右脚をもものところから切断し、その後はスポーツと離れて生活をしていたそうです。

しかし、就職をきっかけに小さい頃に好きだった水泳にチャレンジする中で、ご自分の障害と向き合えるようになったそうです。

2016年にリオデジャネイロパラリンピックに初出場で、日本選手最高の6位の成績を残しました。2度目のパラリンピック、東京2020大会でも6位入賞を果たしました。そして、沖縄県を拠点にトレーニングを行い、3度目の出場となったパリ2024パラリンピックでは9位の成績を残しています。



講演会では、前半45分は、1~6年生で聞きました。始めにジャージ姿で子どもたちの前に登場し、その場で下のジャージを脱ぎ、義足を見せていただいたことに子どもたちは、驚いていました。また、13歳で足を切断することを決断したことについて、子どもたちへ「自分だったらどうしますか?」という質問に、各自考え、手を挙げていました。

「命が一番大事であること」「夢を諦めないこと」とともに『できないことに挑む』『周りの方への感謝』『相手の心に寄り添う』ことが子どもたちの感想にあげられました。

後半は、5・6年のみ話を聞きました。講演後、実際に競技用の義足に目の前で取り替えて、体育館を走ってくださり、その速さに驚いていました。



子どもたちのいろんな質問にも答えていただき、左足1本で、ずっと立っていたことにも驚いていました。アスリートとして、健全な部分の体を鍛えることが大切であることも子どもたちには印象的だったようです。気持ちが前向きになる感想が多くありました。

講演後の反響がとても大きく、お願いしてよかったと思っています。

今回は、「本物に触れさせたい、話を聞かせたい」という思いで依頼をさせていただきましたが、ねらい通り、子どもたちがそれぞれ感じたものがあり、どの子も前向きな気持ちの感想が多くありました。



一小的きらり

なかよし班の長縄記録会

2月21日（金）の昼休みになかよし班長縄記録会を行いました。優勝は、1班で記録は206回、「ぐんと伸びたで賞」は78→158回で5班でした。

どこの班も業間や昼休みを使って、6年生が声をかけ、それぞれの班が練習に励んでいました。何よりもその姿が、素晴らしいかったです。



大きい子が小さい子に声をかけたり、タイミングを教えたりして、どんどん上手になりました



今回は、二次避難の階段までです。5年生から振り返りもありました。

2/25（火）の昼休みに5年生の総合的な学習の時間のSDGsの学習で、避難経路を各教室に掲示し、5年生による避難訓練を行いました。

昼休みの避難訓練は、どう身を守るか、どう逃げるか、考えさせられました。

まさに「自分でGO！ 自分がGO！」です。